

1. 科目名（単位数）	肢体不自由教育Ⅱ（2単位）	3. 科目番号	SSMP3353 SSMP3453 SNMP3453 SCMP3453 SBMP3453
2. 授業担当教員	八重樫 幸雄		
4. 授業形態	講義・演習・ディスカッション	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	肢体不自由教育Ⅰの単位を修得した後に履修することが望ましい。		
7. 講義概要	本科目では、肢体不自由教育Ⅰで学習した知識を基礎に、医療・福祉など近接分野の最新の動向に関心を広げながら、より実践的な内容を学習する。具体的には主として自立活動に関する学習指導案の作成・模擬授業を通して、実態把握やアセスメントの方法、及び評価に関する基礎、教材・教具の意義理解など、肢体不自由特別支援学校で活かせる実践力を、グループ討議や双方向対話形式で培っていく。		
8. 学習目標	【期待される効果】以下に関して理解し、説明することができる。 ① 肢体不自由の主な起因疾患と指導上の留意点 ② 肢体不自由児の実態把握・アセスメントの基礎知識 ③ 自立活動の授業づくりや模擬授業、授業研究会に関する取り組み ④ 身体障害者福祉施策の概要		
9. アサイメント（宿題）及びレポート課題	・アサイメント 事前学習、事後学習で取り組んだ内容を毎回のアサイメントシートに記述する。 ・レポート課題 模擬授業の反省を踏まえた肢体不自由児に関する自立活動の学習指導案及び教材・教具案を作成する。A4版4～8枚程度		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】文部科学省『特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編（幼稚園・小学部・中学部）』開隆堂出版 2017。 【参考書】 古川勝也・一木 薫編著『自立活動の理念と実践 実態把握から指導目標・内容の設定に至るプロセス』 ジエース教育新社、2016。 小林芳文編『乳幼児と障害児の発達指導ステップガイド』日本文化科学社、1999。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 肢体不自由教育に関する基礎的、基本的事項を理解し、説明できるか。 2. 肢体不自由教育の学習指導案作成と授業づくりを理解し、模擬授業や授業研究に主体的に他と協調しながら対処できるようになっているか。 ○評定の方法 以下を総合的に検討し、判断する。 1 発言、討議、態度、グループワークへの貢献、シートの取り組み等への積極的参加 総合点の40％ 2 レポート（模擬授業、テストを含む） 総合点の60％ ＊なお、本学規定の「3/4以上の出席」が単位修得の条件であることも判断規準となる。		
12. 受講生へのメッセージ	模擬授業等は、児童生徒の視点、教師の視点の両方からしっかりと取り組む必要がある。またグループで協力しながら取り組む模擬授業は、チームティーチングの原点になる。これまで学んできた知識を踏まえ、授業には、真剣に取り組む。		
13. オフィスアワー	第1回の時に知らせる。 連絡先 yuyaegas@ed.tokyo-fukushi.ac.jp		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション:肢体不自由教育Ⅰの振り返り	事前学習	肢体不自由教育Ⅰで学んだ肢体不自由教育の現状と課題を見直しておく。
		事後学習	肢体不自由教育Ⅱで関心をもったところを説明できるように、アサイメントシートにまとめ、確認テストの準備をする。
第2回	肢体不自由児者の生活と福祉施策	事前学習	身体障害者の福祉政策について調べ、説明できるようにアサイメントシートにまとめておく。
		事後学習	肢体不自由児者の福祉政策のいくつかを説明できるように、アサイメントシートにまとめ、確認テストの準備をする。
第3回	肢体不自由特別支援学校における教育課程と自立活動の授業づくり	事前学習	肢体不自由教育Ⅰでの学びを振り返り、肢体不自由特別支援学校の教育課程と自立活動について説明できるようにアサイメントシートにまとめておく。
		事後学習	自立活動の授業について説明できるように、アサイメントシートにまとめ、確認テストの準備をする。
第4回	肢体不自由児の実態把握とアセスメント	事前学習	肢体不自由児の実態を把握するための検査について調べ、説明できるようにアサイメントシートにまとめておく。
		事後学習	肢体不自由児の実態把握の方法について説明できるように、アサイメントシートにまとめ、確認テストの準備をする。

第 5 回	感覚・認知、人間関係の形成の指導例～ ムーブメント教育を中心に～	事前学習	自分でムーブメント教育について調べ、説明できるようにアサシメントシートにまとめておく。
		事後学習	感覚・認知、人間関係の形成の指導例で関心を持ったところを説明できるように、アサシメントシートにまとめ、確認テストの準備をする。
第 6 回	運動・動作の指導例	事前学習	「身体の動き」の具体例を自分で調べ、説明できるようにアサシメントシートにまとめておく。
		事後学習	運動・動作の指導例で関心を持ったところを説明できるように、アサシメントシートにまとめ、確認テストの準備をする。
第 7 回	コミュニケーションの指導例	事前学習	「コミュニケーション」の具体例を自分で調べ、説明できるようにアサシメントシートにまとめておく。
		事後学習	コミュニケーションの指導例で関心を持ったところを説明できるように、アサシメントシートにまとめ、確認テストの準備をする。
第 8 回	学習指導案作成と模擬授業の計画・準備～外部講師を招いて～	事前学習	これまでの指導例で分からないところをアサシメントシートにまとめ、外部講師に質問できるようにしておく。
		事後学習	自分が取り上げる児童と指導内容を決めて、アサシメントシートにまとめ、略案を USB に保存して次回の授業準備をする。
第 9 回	学習指導案の作成 略案から実際の指導案づくりへ	事前学習	模擬授業と指導案検討ができるように、検討すべきところを明確にしてアサシメントシートにまとめておく。
		事後学習	自立活動指導案作成で学んだポイントを説明できるように、アサシメントシートにまとめ、確認テストの準備をする。各自の取り組む課題を確認し、仕上げておく。
第 1 0 回	模擬授業と指導案検討（授業研究会）①	事前学習	模擬授業と指導案検討ができるように、検討すべきところを明確にしてアサシメントシートにまとめておく。
		事後学習	自立活動指導案作成で学んだポイント①を説明できるように、アサシメントシートにまとめ、確認テストの準備をする。各自の取り組む課題を確認し、仕上げておく。
第 1 1 回	模擬授業と指導案検討（授業研究会）②	事前学習	各自がするべきことをアサシメントシートにまとめて、中間発表会の準備をする。
		事後学習	自立活動指導案作成で学んだポイント②を説明できるように、アサシメントシートにまとめ、確認テストの準備をする。各自の取り組む課題を確認し、仕上げておく。
第 1 2 回	模擬授業と指導案検討（授業研究会）③	事前学習	模擬授業と指導案検討ができるように、検討すべきところを明確にしてアサシメントシートにまとめておく。
		事後学習	自立活動指導案作成で学んだポイント③を説明できるように、アサシメントシートにまとめ、確認テストの準備をする。各自の取り組む課題を確認し、仕上げておく。
第 1 3 回	模擬授業と指導案検討（授業研究会）④	事前学習	模擬授業と指導案検討ができるように、検討すべきところを明確にしてアサシメントシートにまとめておく。
		事後学習	自立活動指導案作成で学んだポイント④を説明できるように、アサシメントシートにまとめ、確認テストの準備をする。各自の取り組む課題を確認し、仕上げておく。
第 1 4 回	模擬授業と指導案検討（授業研究会）⑤	事前学習	模擬授業と指導案検討ができるように、検討すべきところを明確にしてアサシメントシートにまとめておく。
		事後学習	自立活動指導案作成で学んだポイント⑤を説明できるように、アサシメントシートにまとめ、確認テスト（まとめ）の準備をする。各自の取り組む課題を確認し、仕上げておく。
第 1 5 回	肢体不自由教育のまとめ 学習指導案に基づく模擬授業の発表と講評	事前学習	各自がするべきことをアサシメントシートにまとめて、発表会の準備をする。

		事後学習	課題レポートを指定された日までに文書で提出できるようにする。
--	--	------	--------------------------------